

4月の おすすめ本コーナー

『司書おすすめ本コーナー 第一弾』

司書が中学生の時(もう10年も前ですが…)好きだった本を、おすすめ本第一弾として紹介しました！

『カラフル』 森絵都

死んだはずの魂が、自殺した直後の少年の体で、期限1年のホームステイをすることに。周囲の人々と衝突を繰り返していく主人公の、驚きの結末とは…！？

この本は、私が中学生の時に一番好きだった本です。物語の結末を知ってからもう一度読んでも、ラストに向けての盛り上がりで、ページをめくる手が止められなくなってしまふ一冊です。

『五体不満足』 乙武洋匡

一見堅苦しい本に見えますが、いつでも明るい乙武少年が「次はどんな工夫で乗り越えるんだろう」とわくわくしながら読める本です。

どちらの本も読みやすいので、ぜひ一度読んでみてください♪



【掲示図書】

森絵都 (1998) 『カラフル』 倫理社。

乙武洋匡 (2000) 『五体不満足』 講談社。

『司書おすすめ本コーナー 第二弾』

第二弾では、『本をもっと楽しむ本』と『星新一 ショートショート遊園地』を紹介しました♪

『本をもっと楽しむ本』 塩谷京子

この本では、「主人公」「作家」「古典」という異なる切り口から、様々な本を紹介しています。『坊ちゃん』のあらすじや、

『樋口一葉』の生涯など、漫画風のイラストを交えて見開き1ページで紹介しているので、興味のある本を探すのにきっと役立つはずです。

『星新一 ショートショート遊園地』 星新一

生涯で1000編以上の作品を残したショート・ショートの神様、星新一の作品集です。読みやすい大活字で、5～10分で読める短編集なので、忙しい生徒の皆さんでも、読みやすいと思います♪



【掲示図書】

塩谷京子（2010）『本をもっと楽しむ本』学研教育出版。（全4巻）

星新一（2010）『星新一 ショートショート遊園地』樹立社。（全6巻）

『雑学博士の本棚』

動物雑学から美術雑学、漫画雑学などなど、雑学に関する本を集めました。

「外国では雨と一緒に、カエルや魚がふってきたことがあるらしいよ。※1」や

「コナン君って、週に3日は殺人事件にあってるんだって。※2」

なんて雑学、ちょっとわくわくしてきませんか？

おもしろいだけでなく、ちょっとした雑学から、可能性にあふれた中学生の、今後の興味や関心探しにも一役買ってくれるかも！？



[掲示図書 (一部)]

渡辺政隆 (2009) 『100の知識 おどろくべき地球』 文研出版。 ※1

柳田理科雄 (2012) 『空想科学読本 12』 メディアファクトリー。 ※2

辻惟雄 (2014) 『ふしぎ?びっくり! ニッポン美術たんけん』 日本図書センター。